



# 「こんにちは 市長です」

6月15日号

オリンピックをやるのかやらないのか。やらない派が半分以上との世論調査。東京ではコロナ緊急事態宣言中。社会的な環境は決して良くない中、オーストラリアのソフトボールチームが太田にやって来た。6月1日はテレビも新聞も大騒ぎだった。私の顔もコメントもたくさん出た。こんなことは生まれて初めてのことだ。かつて関口宏さんの「サンデーモーニング」(TBS)には1カ月くらい出させてもらった。2時間の生番組である。みのもんたさんの「朝ズバッ！」(同)もしばしば出た。原稿を持ってしゃべるのが苦手なので言わなくてもいいことを言ったりして後からどこからか「げんこつ」をもらうこともあった。古い話だ。事の重大さに気付いたのはテレビカメラの放列だった。3階の会議室で記者会見、机の上には10本近くのマイクがあった。

オーストラリアの有力選手の一部はアメリカや日本のチームに所属している。4月、日本女子ソフトボールリーグが太田で開かれた。大垣ミナモというチームには市立太田高出身(当時は太田商業)の内藤選手や二見<sup>ふたみ</sup>選手、そして主戦投手のエレン・ロバーツ選手がいる。彼女はオーストラリア代表の一員である。4年前、高崎の城南球場で4カ国対抗のソフトボール大会が開かれた。その時、マネージャーに「太田で合宿をしてほしい」としつこく?営業した。その後、日本での大会は太田を合宿地にしてくれている。太田がお気に入りになった。だから、太田に来ることはごく自然の出来事である。ところが今回は「特別のこと」になってしまった。コロナとオリンピックと事前合宿とが交じり合ってしまったのである。

事前合宿では市民と接触しない準備をした。オーストラリア政府保健局の情報では、5月30日時点の市中新規感染者は0人、帰国者新規感染者で8人。コロナ感染については日本とは比較にならないほど安心感がある。選手たちはワクチン接種済み、PCR検査は毎日実施する。いい合宿を願っている。(6/2記)